

登録コード	E7142301	開講年度	2026				
授業科目	I C T活用教育演習 I B					担当教員	森下 孟
英文授業名	Seminar for ICT Use in Education I					副担当	谷塚 光典
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	事例ビデオを視聴してのICTを活用した指導法についての分析, デジタル教科書・教材の内容と機能の分析, 事例集の分析を行って, 現状を理解する。さらに, 授業を見学して録画したビデオ, または, 提供された録画ビデオを編集して, 実践解説書を作成する活動を通して, ICT活用指導力を向上させる。						
(5)授業計画	第 1 回: ガイダンス 第 2 回: 一斉学習におけるICTの活用事例研究 (実物投影機の効果的な活用) 第 3 回: 一斉学習におけるICTの活用事例研究 (指導者用デジタル教科書・教材の活用) 第 4 回: 一斉学習におけるICTの活用事例研究 (学習者一人一台環境での電子黒板と連動した発表) 第 5 回: 一斉学習におけるICTの活用事例研究 (デジタルペンを活用した思考過程の発表) 第 6 回: 個別学習におけるICTの活用事例研究 (教師用評価情報の活かし方) 第 7 回: 個別学習におけるICTの活用事例研究 (学習履歴の分析とその活かし方) 第 8 回: 個別学習におけるICTの活用事例研究 (教師の役割・コンピュータの役割) 第 9 回: 協働学習におけるICTの活用事例研究 (情報の発表・共有化による協働学習) 第10回: 協働学習におけるICTの活用事例研究 (情報の分類・整理における協働学習) 第11回: 協働学習におけるICTの活用事例研究 (協働制作における協働学習) 第12回: 協働学習におけるICTの活用事例研究 (クラスを越えた協働学習) 第13回: 実践事例紹介ビデオの作成 (設計・編集) 第14回: 実践事例紹介ビデオの作成 (発表) 定期試験						
(6)成績評価の方法	・各回の授業内容に関する課題 (50%) , ICT活用教育に関する専門的知識・技能に関する確認試験 (50%)。ただし, 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」 : 実践事例紹介ビデオの中で提案しているICT活用授業が, 本授業での学習内容を多面的・総合的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を極めて効果的に加えていて卓越している。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加して他の学生の意見を引き出しつつまとめ役をしている。 「かなり上である」 : 実践事例紹介ビデオの中で提案しているICT活用授業が, 本授業での学習内容を多面的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を効果的に加えていてかなり上である。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加しつつ他の学生の意見を引き出している。 「やや上にある」 : 実践事例紹介ビデオの中で提案しているICT活用授業が, 本授業での学習内容を取り入れていてさらに独自に調査した内容を加えていてやや上にある。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加している。 「水準にある」 : 実践事例紹介ビデオの中で提案しているICT活用授業が, 本授業での学習内容を取り入れていて水準にある。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに参加している。						
(8)事前事後学習の内容	・事前事後学習のために, e-Learningシステム (eALPS) を活用して授業を展開していく。 ・事前学習としては, eALPSにアップロードしてある各回の授業での配布物を事前にダウンロードしたり, eALPSに掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したりすることによって, 問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 ・事後学習としては, 各回の授業で学んだこと・疑問に思ったこと・疑問に思ったことについて調査してわかったことなどをeALPSに記入し, 学生間で共有する。						
(9)履修上の注意	・本科目の受講開始前に「ICT活用教育基礎演習 I」を履修済みであること。 ・本科目の受講と並行して「ICT活用教育基礎演習 II」を履修すること。 ・本科目の受講開始前か同学期に「情報機器活用指導法」「情報機器活用論」「マルチメディア教育論」を履修済みであるか並行して履修することが望ましい。 ・当該科目を履修するにあたって必要となる経費 (参加費・交通費・食費・文房具代・保険料等) は学生の自己負担とする。 ・授業の前後に必ずeALPSの当該コースにアクセスして事前事後学習に努めること。 ・各回の授業後にeALPSのフォーラムで意見交換をすること。						

(10)質問,相談への対応及び連絡先	・ 附属次世代型学び研究開発センター2F 森下研究室 E-mail: morisita@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー: (前期)メール予約で随時対応 (後期)メール予約で随時対応
【教科書】	・ 稲垣忠編著『教育の方法と技術 Ver.2: IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房, 2022年, 2,200円+税
【参考文献】	・ 鈴木克明・合田美子監訳『インストラクショナルデザインとテクノロジー: 教える技術の動向と課題』北大路書房, 2013年 ・ 文部科学省Webサイト「教育の情報化の推進」 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/index.htm) ・ その他, 授業の中で適宜紹介する。